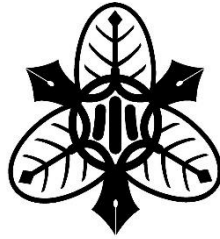


# 学校だより



## 学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和5年12月22日 第8号

文責： 校長 井 正成

## 様々な体験をして、貴重な学びができた2学期でした

様々な活動がコロナ禍前のように可能になった2学期でした。見学旅行、修学旅行、草原体験学習、地域体験活動、観劇会など多くの本物の体験を通して、子供たちは学ぶ機会を多く持つことができました。本物の体験の記憶は一生心に残るものです。内牧小の今の学年での学びは、きっと子供たちの心に刻まれ、これからの人生に生きてくるものと思います。

11月21日(火)には数年ぶりに阿蘇郡市中北部音楽会が開催されました。本校から5年生が参加し、素晴らしい歌声を披露してくれました。また、会の中では、私たちも子供のころに歌っていた「阿蘇(郡)子どもの歌」を参加者全員で合唱しました。子供たちの生き生きした発表や歌声を見たり聞いたりすることで私たちも元気や感動をもらうことができました。コロナ禍前は当たり前に行っていたことの価値やこのような活動ができることのありがたさを実感することができた2学期でした。

また、11月から12月にかけては、インフルエンザ等の感染症が流行し、子供たちの健康管理も大変であったかと思います。明日から冬休みに入りますが、規則正しい生活習慣や食生活をできるだけ継続させていただき、子供たちが元気に、新しい年、そして3学期を迎えることができるよう、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和6年度より阿蘇市立全小中学校で通知表発行を年2回に移行します

阿蘇市立の小中学校では令和6年度より、通知表を3学期制を維持したまま年3回発行から年2回発行へ移行することとしました。

変更の主な理由は以下のとおりです。

- 通知表を2回にすることにより、長期休業期間(夏休み、冬休み期間)を含めて学習内容の定着を図ったうえで評価をすることができます。
- 評価期間が6か月程度となるため、ゆとりのある評価活動が可能となります(3学期の短い評価期間のデメリットが解消できます)。
- これまで通知表作成事務のため、学期末(7月、12月、3月)に授業を数時間カットして行っていました。通知表発行を年2回にすることで、長期休業前の7月と12月に、授業時間が確保でき、長期休業前の学習指導や生徒指導等の充実が期待できます(長期休業前に子供と向き合う時間を確保できるようになります)。

これまで、通知表を渡して長期休業に入るということが習慣化されていたところですが、近年、県内では2学期制への移行に伴い、通知表を年2回発行とする学校が増えてきました。また、阿蘇市と同じように3学期制を維持したまま通知表を年2回発行へ移行している学校も増えてきている実状もあります。

通知表の年2回発行への移行が、子供たちにとって必ずプラスとならなければならないと考えています。保護者の皆様のご理解をお願いいたします。

## 子供たちが真剣に走る姿に勇気と感動をもらいました ～持久走大会～

一流選手が懸命に走る姿は、テレビの画面越しに見ていても感動を味わうことができますが、普段接している内牧小の子供たちの持久走大会に向けての練習、また本番での真剣な表情、息遣い、懸命に走る姿は、それ以上に勇気と感動をもらうことができました。

感心したのは、持久走大会に向けて、登校後、休み時間、夕方などに自主練習している子供たちが何人もいたことです。また、持久走大会当日は、みんな手を抜かずに目標に向かって一生懸命走っていました。学校教育目標にある「夢や目標に向かって主体的に考え行動する子ども」を実践していた子供たち。大変すばらしいと思いました。

一方で、子供たちの中には、どうしても走ることに前向きになれず、葛藤していた子供たちも多くいたかと思います。しかし、そのような経験も、今年の持久走を通して得られた、これからにつながる貴重な学びであると思います。子供たちそれぞれの姿をまるごと受け止め、今後の成長につながるように声をかけたり、励ましたりしていただければ幸いです。

当日、寒い中に応援に来ていただき、熱い声援を送っていただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

## 〇〇新聞「たから箱」 大切にしたい“ことばの力”

現在、〇〇新聞一面に、本校児童の作品が掲載されています。「掲載を楽しみにしていました」「いいですね」「小学生の朝からの言葉、一日が愉しくなります。ありがとうございます。」など、多くの方から感想や感謝の言葉をいただき、あらためて反響の大きさに驚いているところです。

先日は、県内在住の90代の方から、1年生の〇〇さんあてに次のようなお手紙をいただきましたのでご紹介します。

12月7日 〇〇「たから箱」に掲載された〇〇さんの「あるくのだいすき」見ました。

.....、  
道がある姿に、すばらしい元気をもらいました。

ありがとう！ がんばるね

内牧小の1年生の教室で書いた文章が、メディアを通じて、会ったことのない一人の方を勇気づけ、元気づけていたことに感動しました。

ことばがもたらすプラスの力をこれからも大切にしたいですね。

## 年度末、年度初めにの転居等の予定がありましたらお知らせください

現在、来年度に向けた学級編制の準備をしているところですが、学校の教職員数は、学校に設置された学級数で決まります。国の基準では、小学校では通常学級1学級当たりの児童数の上限は年度進行で令和7年度までに35人になります。中学校では通常学級は1学級当たり40人（熊本県は中1のみ35人）、また特別支援学級は小中学校ともに1学級当たりの児童生徒数の上限は8人となっています。学級数の増減に影響が出る可能性のある児童生徒数の場合は、次年度の教職員数に影響することから年度末にかけて正確な情報収集をする必要があります。

そこでもお願いになりますが、年度末、年度初めに転居等で他校への転出の可能性のあるご家庭がありましたら、学校へご一報いただければと思います。また、あわせて転入についての情報をご存じであれば学校までお知らせください。

※12月29日（金）から1月4日（木）までは学校に職員が不在となります。児童の事故等緊急の連絡の必要性が生じた場合は、「すぐーる」の欠席連絡機能を使ってご連絡ください（病欠か都合欠を選択し、備考欄に詳細を書き込んでください）。